

山田町過疎地域持続的発展計画（案）
パブリックコメントの結果と対応

No.	頂いた意見等	意見等への対応
1	私 山田に来て8年弱になります。震災後復興が進み元の姿を取り戻しつつあります。しかし人口減少が進み過疎化が顕著です。特に若者が少なく、これでは限界集落に落ち込んでしまいます。そこで、この街に一大観光拠点を造ってはと思います。企業誘致も望めない町なら、いつそのこと自力で拠点作りをと思います。なぜ山田なのかといいますと三陸の中心で1つ。町で所有する81町歩の牧場跡地が使われないであります。2つ江戸時代に8代将軍徳川吉宗の時、日本の薬草学200余巻をまとめ多大な貢献をし、将軍より名を賜り阿部将翁と言う方がいました。3つ三陸鉄道の活用です。4つ三陸海岸の観光資源活用です。これらが全て眠っています。特に三陸鉄道はこのままでは赤字になります。そこで拠点造です。拠点として、牧場跡地を活用して阿部将翁日本植物園をつくってはとおもいます。メインとして1つに丘に春夏秋冬の花を丘ごとに観光花畑を作り、そこまでの道を桜並木。紅葉並木。イチヨウ並木。椿並木などを作り、広大な駐車場や所々にベンチなどを配し、東屋も数か所設置し人を集めることを考えました。これらの維持には県内の農業高校などに依頼して専門的な指導を仰ぎ。又草とりなどは近隣の年金受給者でまだまだ働ける人達が多数あり、さらにおおくの雇用も見込まれると思います。近隣市町村の活性化につながり人口も増えていくと思います。ただ多大な資金と長い年月を用します。よって近隣市町村、県、国一丸となって達成する。限界集落阻止のモデルとしてもなりうるのでは。 それぞれの人たちをあつめプロジェクト立ち上げ早急に進めていく。 細かいことはみんなで考えながらやっていく 以上提案いたします。最後になりますがいちばん恩恵の多い山田町は、牧場跡地の利用に係る固定資産税などは免除してもらおう。年中通して人を呼べると思います。100年計画として 三陸の真ん中で年中観光できるもの。それにより多くの人々が動くことで三鉄、陸中の観光と発展して行き過疎化も解消することと思います。皆で考えましょう。 取敢えず。30年目途にどうゆうものを作っていくか設計図の検討し、散策路にイチヨウ並木。紅葉並木など道の両側に苗木を植樹し真ん中に何を植えていくか考える。30年たつと立派な樹木になります。花など品種改良も農家の人達に依頼して優秀な人にはご褒美を出して町全体で花の町山田を作りあげていく。ここに仕事生まれ人口増加海山観光町の活性化につながるとおもいます。山林整備も併せて行う必要がある。	町ではこれまで、船越家族旅行村や船越公園に桜などの花木や花畑を整備し、さくら祭りなどのイベントを開催し、町の観光スポットの1つとして活用してきました。 頂きましたご意見を、事業提案として参考とさせて頂きながら、今後も引き続き、船越家族旅行村や船越公園の活用推進に努めてまいります。